

山 行 報 告 書

山行報告者：東海林

山 名：仁田元沢廻行 庚申山 (1892m) ～石塔尾根～中倉山 (1499m) 縦走 栃木県日光市	
入山日又は期間：2020年9月21日～22日 山中1泊2日	
プラン担当者 正：今田 副：	
参加者	L：今田 報： 記：東海林 今田、鈴木、北田、金澤、 山崎、東海林
	男 4名、女2名、計6名
天 候：曇り時々小雨のち晴れ	
9月21日 (月)	集合時間：6:30 集合場所：上尾駅東口セブンイレブン前 6:30 上尾発～9:20 銅親水公園駐車場着～11:00 入渓点～15:50 1300m 付近 幕営地 (6時間30分)
9月22日 (火)	5:00 起床～6:00 登山開始～9:30 沢入山～10:40 中倉山～14:30 駐車場着 (7時間30分)～17:00 頃上尾着予定
装備と食糧	共同装備：ロープ (北田、今田)、焚き付け、焚火缶(北田、今田) 浄水器(金澤、東海林、今田)
	共同食：21日夕食：(鈴木シェフ) 焚火3脚用針金他 小型ラジオ (今田) 車：①今田、金澤 (連絡)、鈴木 ②北田、東海林 (連絡)、山崎
	個人装備：ツェルト、シュラフ一式マット、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、携帯、 手袋、水筒、コップ、カトラリー、新聞紙、ゴミ袋、バーナー、燃料、 ヘルメット、ハーネス、スリング、サンダル、沢靴、スパッツ、グローブ、 エイトカン、カラピナ、着替え 防虫対策 防水対策 ナイフ、お酒少し
個人食：21日昼食 22日朝食昼食 行動食2日分 非常食	
感想&要注意事項	入渓点に行くまでにダムの入口があり懸垂下降で進み、いよいよ初めての沢に入り登り始める。 岩の上を歩きたいが足の安定感が無く、水の中を歩き靴はすぐに靴下までびしょ濡れになった。 大きい岩を乗り越えたり、小さい滝の上に登ったり、沢脇の岩を伝ったり右へ左へ進める ところを探しながらの歩きの連続で緊張する。 大きい丸い石はぬるぬるしていて掴めなくて何度も転んだり沢に落下してしまった。 長い滝の中に入らないと先に進めないところもあり、重い滝に打たれ全身びしょ濡れになって しまった。私は岩から1～2m下の落ち葉の上に落下してしまい、驚きの後、痛さと恐さで 涙が出てしまった。 その後も、私の歩みは遅く予定の幕営地まで辿り着くことができず、開けた場所でテントを 設営する事となった。だんだん暗くなってきていたし、体も疲れ全身濡れで寒くもなっていた ので正直ホッとする。
	次ページへ

感想&要注意事項

各自テントやツェルトを設営した後、北田さん達が起こしてくれた焚火にあたり冷えた体を温めた。食事は鈴木さんが餃子入りの2種類の味のラーメンと、チャーハン、チョコレートケーキにバナナとホイップクリームをのせブルーベリーソースを掛けたデザートを食べた。とても山の上とは思えないおしゃれな食事と美味しさに感動しました。

焚火の終了に花火をしました。獣が嫌いな匂いらしいです。

18時にはそれぞれのテントで就寝。ウトウト寝ていたらパーン・トーンと音がして、次の日に落石だと聞き恐ろしくなりました。

次の日の朝は各自食事をして6時に出発。笹の崖の急斜面を這いつくばって登り尾根に出る。尾根からは沢靴から登山靴に履き替え、天気も良く見晴らしの良い尾根歩きが続く。

皇海山も良く見えた。登山道から見える隣の山は、木が少なく土砂が見えていて脆そうな荒々しさがあった。銅山から出たガスの影響が広範囲に及んで荒廃させたのかと恐ろしく思った。孤高のブナの木の前で休憩を取り、あとは下山するのみだったが、私の足は下山で右膝が痛くなり、また歩きが遅く歩みがおぼつか無くなってしまった。

最後は北田さんにザックを持ってもらってようやく下山することができました。

予定を変更してくれたり、さりげなく沢で流されても止められるような位置に立ってくれたり、危険な岩ではロープを出してくれたり、笹の急斜面で滑り落ちて止められるよう下で見えてくっていたり、遅い歩きに合わせてくれたり、荷物を持ってくれたり、私が落ち込まないように明るい会話で盛り上げてくっていたり、皆さまの優しさをしっかり受け取りました。

私にはまだレベルが高かったですが、初めての沢登りのテント泊にチャレンジできて楽しかったです。

また体力をつけて来年にリベンジしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

今田さん、北田さん、鈴木さん、金澤さん、山崎さんありがとうございました。

以上